



どうせ**夢オチ**  
なんだからと  
**〇ーニヤ** ちゃん **に**  
路上で好き勝手する話。

あ  
は

「あ、ソーニヤちゃんだ！」

「オハヨー！」

「ソーニヤちゃん！」



「ん？」

「なんだ、やすなか」

「なんだじやないよ！」

「カワイイやすなちゃんだよ！」

「もう！」

「お詫びにおはようのチューして」

「もらわないと気がすまないね！」



「まったく……」

お前はいつも仕方がないな♡

「ふええ？」



「ソ、ソニーニヤちゃん？  
にゃんにゃんでキスを……？」

「??????」

「お前がやれって言ったんだろ♡」

「……あ、わかった。」

「これ絶対夢オチだね！」

「じゃあさ、じゃあさ！

おパンツなんかも

見せてくれちゃったり……

……する？」

「ん？」

「ああ、いいぞ」

「うっひよるるるるる！」

ソーニヤちゃんのお白パンツ♡

ソーニヤちゃんって

クールなフリして、

リボンの付いたショーツなんて

買ったちゃうんだ♡」

「あんまり

じっくり見るなよ。

……恥ずかしい♡」



「うへへへ！」

夢オチばんざい！

もうたまんない！

お尻に頬擦り

しちやうもんね！」

「おい、

パンツの中に

手を入れるな♡

まったく……

仕方が無い

奴だな♡」



「ウツヒー！」

ソーニヤちゃんの  
尻肉ぷにぷに♡」

「ん……♡」

（ヤバいな……。）

お尻を触られて  
るだけなのに、  
なんだか……）

「おっほー♡

まさかソーニヤちゃんが

モナピーーまで

見せてくれるなんて♡」

にゅぷっ♡



ゲキユ♡



くちゅ♡



くちゅ♡



「んっ♡はあっ♡

お前に見せるのはいいけど♡

あっ♡んんっ♡

ここじゃ、他人に見られる♡」

「実は最初から見ただりして〜」

「あぎりさん！」

「あぎり？」

「あ♡やめる♡  
見るな♡

あっ♡

あっ♡あっ♡あっ♡

ふあああああ〜〜〜♡」

ゲチユ♡

ゲチユ♡

ゲチユ♡

ゲチユ♡

ゲチユ♡



「見られてイツちゃんなんて、

ソーニヤちゃんも

結構エロいんだね♡」



むわあ……♡

「うふふふ~~~~♡」

「忍法フタナリの術」

「すごい！太い！」



シュシュシュシュ  
♡

♡  
シュシュシュ  
♡

（忍法というより淫法だな……）

「これ、ちゃんと

気持ちいいんですよ〜♡」



「クリ○リスが

変化したものなので〜、

ちよろつと刺激が

強いんですけど〜♡」

「んふふふっ♡

あんっ♡あはっ♡

……うふふ、こっんなに

出ちやいましてた♡」



(……ゴクリ)

ど  
ぴ  
ゅ  
ぴ  
ゅ  
っ♡

ど  
ぴ  
ゅ  
っ♡



「うふふ…:…:♡

我慢できなく

なっちやいまして♡」

「ソーニヤ♡

ちよつと

オ○ンコ貸してもらっても

いいですか?」



とろろ…:…:

「まったく……、  
しようがないな。  
ほら、あぎり♥  
使っていていいぞ♥」

「あっ、ずるい！」

チ○コの無い私が  
絶対に不利すぎる！」



「あ~~~~~」

すごっ♡

このチ○ポ太おい♡」

ズチユツ♡

にゅぷっ♡

にゅぷっ♡

「いい所に  
ガンガンあたるな……♡」



「ずるいよあぎりさるん！」

一人で何発もソーニヤちゃんに  
発射して〜〜〜！

ズチユツ

ズチユツ

にゅぷっ

にゅぷっ

にゅぷっ

「うふふ〜♡

しようがない  
ですねえ。

じゃあ、やすなさんにも

おち○ぽ生やしてあげますね〜」

ハア♡

ハア♡



「うひよー♡♡

ソーニヤちゃんの膣肉、

ニユルンニユルンして

すつごく気持ちいいよ♡♡」

ズチユツ♡

ズチユツ♡

♡

ズチユツ♡

♡

ズチ

ズチユツ♡

あっ♡

♡

あん♡

「クリチ○ポも

敏感で気持ちいいし、

もう腰が止まらないよ……」

あん♡

♡



「……って夢を見たんだよ！  
エツチな夢見れて  
羨ましいでしょ！」

「……………」



「百歩譲って、

私とのセ○クスは

いいとしよう。

でも路上でやるな！

せめて、

建物の中でやれ！」

「そうだよねー。

流石に私も

そう思ったよ……」

終













































